

バリエーションルート

■ ヤブ山登山



自分で地形図上に設定したルートをたどったり、廃道と化した歴史上の道を踏査したり、県境稜線を忠実にたどったりする。マニアックな上級者向けのゲーム（中央アルプス南部）

■ 沢登り



沢づたいに遡行して山頂をめざす日本独自のジャンル。山の最深部へと入り込んで原始の自然にふれる試みでもあり、山の自然美を充分に楽しめる優れた登山形式だ

■ クライミング



現代のクライミングは多数のジャンルに分化しているのが特徴だ。複数のジャンルに取り組む、総合力のあるクライマーをめざしたい（谷川岳・一ノ倉沢南稜）

山と溪谷社
登山技術全書 登山入門より

積雪期の一般登山

■ スキー登山



雪山で行なわれるため、その困難・危険性も雪山登山と共通である。軽い気持ちで入山してはいけない（北アルプス・白馬大雪渓）

■ 雪山登山



雪山には強風、低温、積雪、雪崩など多くの危険が潜む。真剣に雪上登山技術を学んで身につけてゆくことが重要（南アルプス・仙丈ヶ岳）

■ スノーハイク



雪の積もった低山や原野で楽しむハイキング。最近はスノーシューを使う人が多いが、クロスカントリースキーやワカンでもできる

山と溪谷社
登山技術全書 登山入門より



日本百名山 槍ヶ岳

表銀座縦走：燕岳⇒大天井岳⇒西岳⇒東鎌尾根⇒槍ヶ岳

裏銀座縦走：高瀬ダム⇒烏帽子岳、野口五郎岳、水晶岳、鷲羽岳などを経て槍ヶ岳



日本百名山 槍ヶ岳



日本百名山 槍ヶ岳



山を目指して長距離移動も知床へ移動中の景観を楽しむ

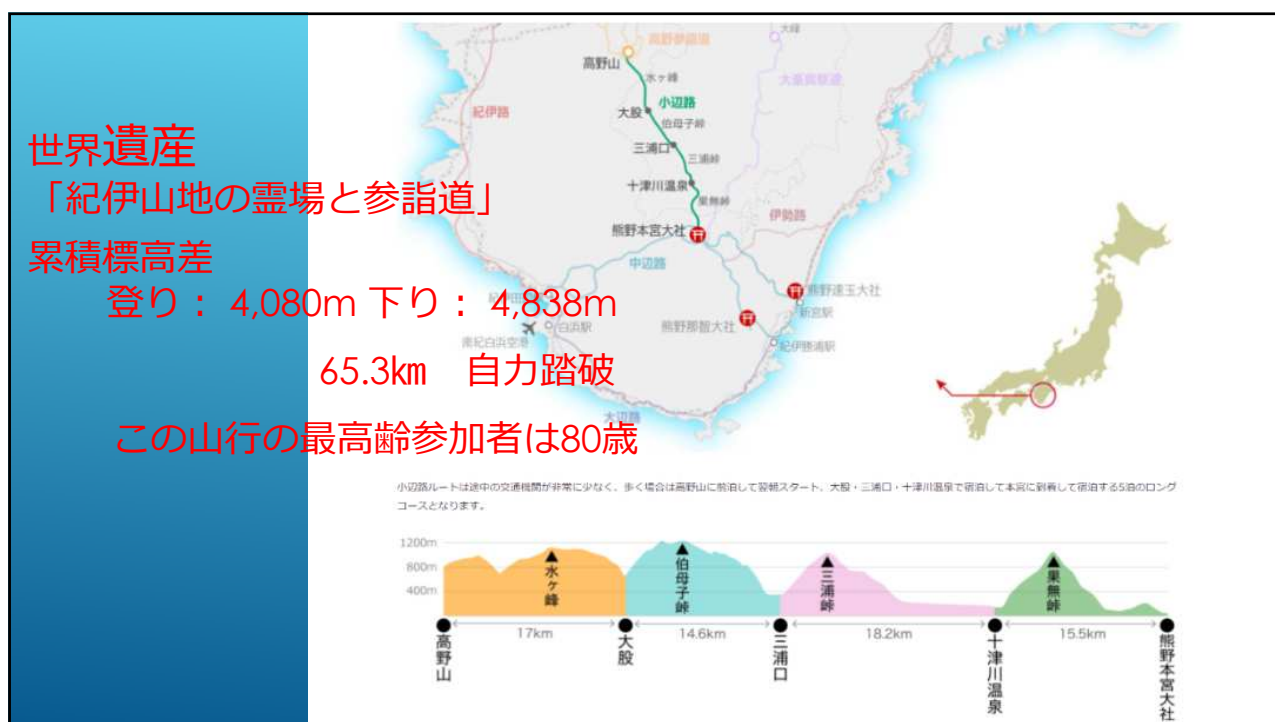


国後島から登る朝日に送られて知床岳へ出発











正体は親子のヒグマ

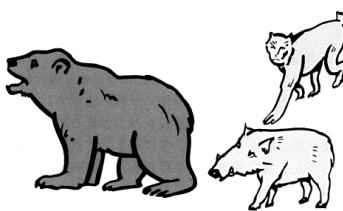
- ・我々は黒岳から石室へ向かう登山道c01950地点か発見
- ・ヒグマの親子は桂月岳下c01,900付近、石室から真北に350m程度
- ・水平距離は1,000m程度、遭遇の危険は無いと判断し山行を継続した。
- ・この日は北鎮岳からの下山中に凌雲岳の沢地でもヒグマ一頭を目撃したが無視した

しかし、北鎮岳からの帰路「雲の平」に人だかり…。確認したところ親子熊がハイマツの中に潜んで動かないとの事。しばらく待ったが動きが無いため、熊鈴とホイッスルを吹きながら登山道を外れて接近した。親熊が気づき頭をもたげ、周辺を警戒、目と目が合った!!
逃げ出したいくらいの恐怖感。。。しかし、熊遭遇時の鉄則は、目が合ったらこちらも目を離さない、後ろ向きで背走しては追われるので絶対ダメ。止むを得ず、熊と目を合わせたまま少しづつ距離を取った。結局、熊は動かないため待機していた登山者たちは笛と鈴を鳴らしながら登山道を通過した。最後尾を担った私も無事通過。山頂で出会った監視員に聞くとハイマツ帯で子熊に授乳をしていたとの事。

3 注意すべき動植物

人が山で動植物から被害を受けないようにするには、それらの動物の生息域、ハチの巣、植生域に不用意に近づかないことが基本である。

マムシ(広く全国)、ヤマカガシ(北海道にはいない)、ハブ(沖縄県)などの毒蛇は、草むらや水辺に潜んでいて、不意に出遭うと咬まれる。棒やストックなどを草むらへ先行させて、蛇が逃げるように仕向けながら、慎重に進む。



(3) ハチ

スズメバチは、巣から一定の範囲を偵察バチが警戒のために飛び回っている。もしスズメバチに遭遇したら、それは近くに巣があることを意味している。偵察バチを刺激しないように、静かに引き返す。結果として巣に近づくと、スズメバチは集団で襲ってくる恐れがある。スズメバチ以外にもハチ毒はアレルギーとしてアナフィラキシーショックを引き起こして呼吸困難など致命的な状態になることがある。ハチに刺されたら、速やかに医療機関に移す。

ツタウルシ

